

プレスリリース

報道関係者各位

2018 年 2 月 8 日

IMO 燃費報告制度に準拠したデータコレクションプラン対応サービスを開始

株式会社 ClassNK コンサルティングサービスは、国際海事機関（IMO）が導入する燃費報告制度（IMO DCS）に準拠したデータ収集及び報告手順書（データコレクションプラン：DCP）対応サービスをこの度開始しました。

2018 年 3 月 1 日に発効される MARPOL 条約付属書 VI の改正により、国際航海に従事する 5,000GT 以上、かつ船舶エネルギー効率管理計画書（SEEMP）の所持が要求される船舶に対し、2019 年より燃料消費量などの運航データの収集及び報告が義務付けられます。

これにより、燃料消費量などに関するデータの収集及び報告手順をまとめた DCP を作成の上、SEEMP Part II として SEEMP へ記載することが要求されます。また、DCP には、船舶の実情に合った船舶運航データの収集方法及び管理手順などを記載する必要があるため、船舶毎に DCP の作成が求められます。なお、2018 年 3 月 1 日以降引渡しが行われる船舶は引渡し時に、それ以前に引き渡された船舶は 2018 年 12 月 31 日までに、旗国/船級の承認がなされた DCP が必要となります。

当社は業界の IMO DCS への対応を支援すべく、従来の SEEMP 対応サービスに続き、DCP 標準書式の提供による DCP 作成支援サービスなどを提供してまいります。

この件に関するお問い合わせ先：
株式会社 ClassNK コンサルティングサービス
Tel: 03-5226-2290
E-mail: consulting@classnkcs.co.jp

以上